

012

あらゆる産業分野で横断的に活用できる
世界各地域の VR モデルの構築

取組主体

株式会社フォーラムエイト

従業員数

243 人

想定災害

地震

実施地域

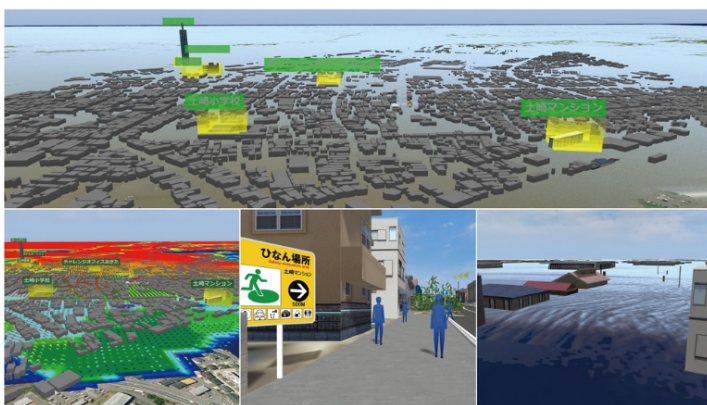
全国

- 世界各地域の VR モデルを構築し、避難計画の策定や防災教育等、あらゆる分野のシミュレーションのベースとして活用できるよう提供。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

国内 29 地域、海外 49 地域の VR 都市モデルを構築

- 土木・建築、交通、自動車等の分野における設計・解析ソフトの提供及びシステム開発を行う株式会社フォーラムエイトは、土木・道路・交通事業での豊富な実績を活かし、世界各地域の VR モデルを作成し、あらゆる産業分野で横断的に活用できるよう提供する「デジタルシティ VR プラットフォーム構築システム」の普及を推進している。
- 同システムは、令和 2 年 1 月時点で国内 29 地域、海外 49 地域のデータを保有しており、人口密集地から過疎地まで、多様な規模の都市と地域をカバーしている。
- 同システムを交通シミュレーションやハザードマップ、避難ルート等と連携させることで、災害時の避難計画や渋滞予測、物流ルート計画等において、より現実的で多角的な視点での検討が可能となる。
- 同システムを避難計画の策定や防災教育に活用した事例としては、秋田市の津波浸水域の街並みを VR 化し、津波避難シミュレーションを行った「津波迅速避難教育システム（秋田県産業技術センター、秋田大学）」や、高速道路で火災があった場合の避難方法を体感できる「首都高速道路 横浜北線・北西線 すべり台式避難方法の VR 体験シミュレーション（首都高速道路株式会社 神奈川建設局）」等が存在する。



津波がどのように遡上してくるのかを体験できる VR

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 作成した都市モデルはクラウドシステムを通して公開している。また、VR ソフトの機能改訂に合わせて既存のモデルを更新し、継続的にデータの高度化を図っている。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社は、将来的には国内外全域の VR シミュレーションデータの構築とオープンデータ化を行い、ICT を活用した街づくりや様々な産業用研究・開発の共通基盤とすることを目指している。

担当者の声

- 昨今、被害が複合化・甚大化する傾向にあります。様々な分野を横断的に結び付けるプラットフォームとなる本システムを提供し、都市計画、ハザードマップ作成、防災・避難教育等に広く活用いただくことで、持続可能で強靱な国土とインフラ整備に貢献したいと考えています。

問合せ先

株式会社フォーラムエイト 法人番号: 1013201007836
TEL : 03-6894-1888 FAX : 03-6894-3888 E-Mail : f8tokyo@forum8.co.jp

動画

